

薬連ハイライト

自由民主党薬剤師問題議員懇談会が開催される!!

令和5年6月2日(金)、骨太の方針2023、規制改革実施計画が6月中旬に閣議決定される状況の中、日本薬剤師会の課題と要望を理解していただくよう、自由民主党薬剤師問題議員懇談会(会長:鈴木俊一衆議院議員)の世話人会と総会が開催された。

世話人会

12時より都内ホテルにおいて世話人会が開催され、15名の新規入会者と会計報告が了承されると共に、日本薬剤師会の課題と要望について意見交換が行われた。

総会

16時より、自由民主党本部会議室において、事務局長である本田顕子参議院議員の進行の下、総会が開催された。鈴木会長の挨拶に



続き、新規入会者の紹介、会計報告が行われた。次に、山本日本薬剤師会会長の挨拶が行われ、続いて日本薬剤師会の課題と要望について資料を用いて森日本薬剤師会副会長から説明がなされた。次期診療報酬改定に向けた必要財源の確保、安定した地域医療提供体制の維持に必要な社会保障財源の確保、物価・賃金の高騰を踏まえての財政支援、訪問看護ステーションへの医薬品配置の拡大等過剰な規制改革の抑制等について説明すると共に、来年度予算と税制改正に関する要望を伝えた。また、医療分野における物価・賃金高騰対策についての要望書が鈴木会長に手渡された。

参加議員からは、日本薬剤師会が主張する問題点について支持又は賛同する多数の意見が出された。

自由民主党薬剤師問題議員懇談会の会員は衆議院190名、参議院66名の256名となり、総会には本人出席57名、代理出席105名であった。



オレンジ日記

薬物の乱用と適正使用

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



今夏の策定に向けて「第六次薬物乱用防止五か年戦略」の検討が大詰めを迎えています。

わが国では、大麻等の違法薬物をこれまでの人生で一度でも使った経験がある人の占める割合(薬物生涯経験率)は欧米先進国よりも低い水準ではあるものの、大麻事犯は2021年に検挙人数(5,783人)が過去最多を更新し、特に30歳未満が急増し全体に占める割合も68.0%に達しています。

このため、「第六次」ではわが国が大麻乱用期の渦中にあることを念頭に、デジタルツール等を用いた若年層への効果的な啓発活動などを強化する方向で議論が進められています。

依然として後を絶たない薬物乱用に対して地域の薬剤師の先生方が果たす役割は大きく、6月20日から7月19日まで全国展開している「ダメ。ゼッタイ。」普及運動や毎年10月の「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」、さらには小学5、6年生向けの学校教育等において、薬物の危険性・有害性をより多くの人に伝えるための弛まない活動にご尽力いただいています。

他方、疼痛緩和に医療用麻薬が使用されるようになり、また、大麻からつくられる薬の医療用途での活用が間近な話題となっていることを踏まえれば、乱用防止への関わりのみならず、これらの医療における適正使用の担い手としての役割も薬剤師が果たしていくことになります。

「薬物」から国民の健康を守るのも、「薬物」の適正使用を通じて国民の健康を確保するのも薬剤師。改めて薬剤師の役割の大きさを感じます。

政幸だより

通常国会を終えて

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



今年の1月23日に召集された第211回通常国会が6月21日に終了しました。今回の通常国会では3回質問に立ちました。1回目は4月13日の内閣委員会で審議された「新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律」(質疑時間15分)、2回目は4月19日の資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会(以下、資源調査会)で行われた「資源エネルギーと持続可能社会をめぐる情勢」(質疑時間10分)、3回目は4月25日の厚生労働委員会で審議された「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案」(質疑時間35分)です。1つの質疑に対して約3分と考えて、15分の内閣委員会では6問、10分の資源調査会では3問、35分の厚生労働委員会では13問を作成しました。

国会の質問は法案に対する各省庁からの情報収集も重要ですが、それ以上に現場の先生方の声や状況を、事前によく伺っておくことが大事だと、今回強く感じました。内閣委員会ではコロナ禍において検査キット等の供給について現場で混乱が生じていたこと、資源調査会では安定ヨウ素剤の住民配布における問題、厚生労働委員会では後発品の安定供給や電子処方箋に関する問題など、先生方からお聞かせいただいた多くの声を、現場の声として国会に届けることができたと思います。国会閉会中はぜひ多くの先生方とお話をさせていただき、勉強したいと考えています。薬剤師の代表として、これからも国民の皆様が健康で活躍できる社会づくりのために、しっかりと活動してまいります。引き続き皆様のご支援をよろしく願いいたします。